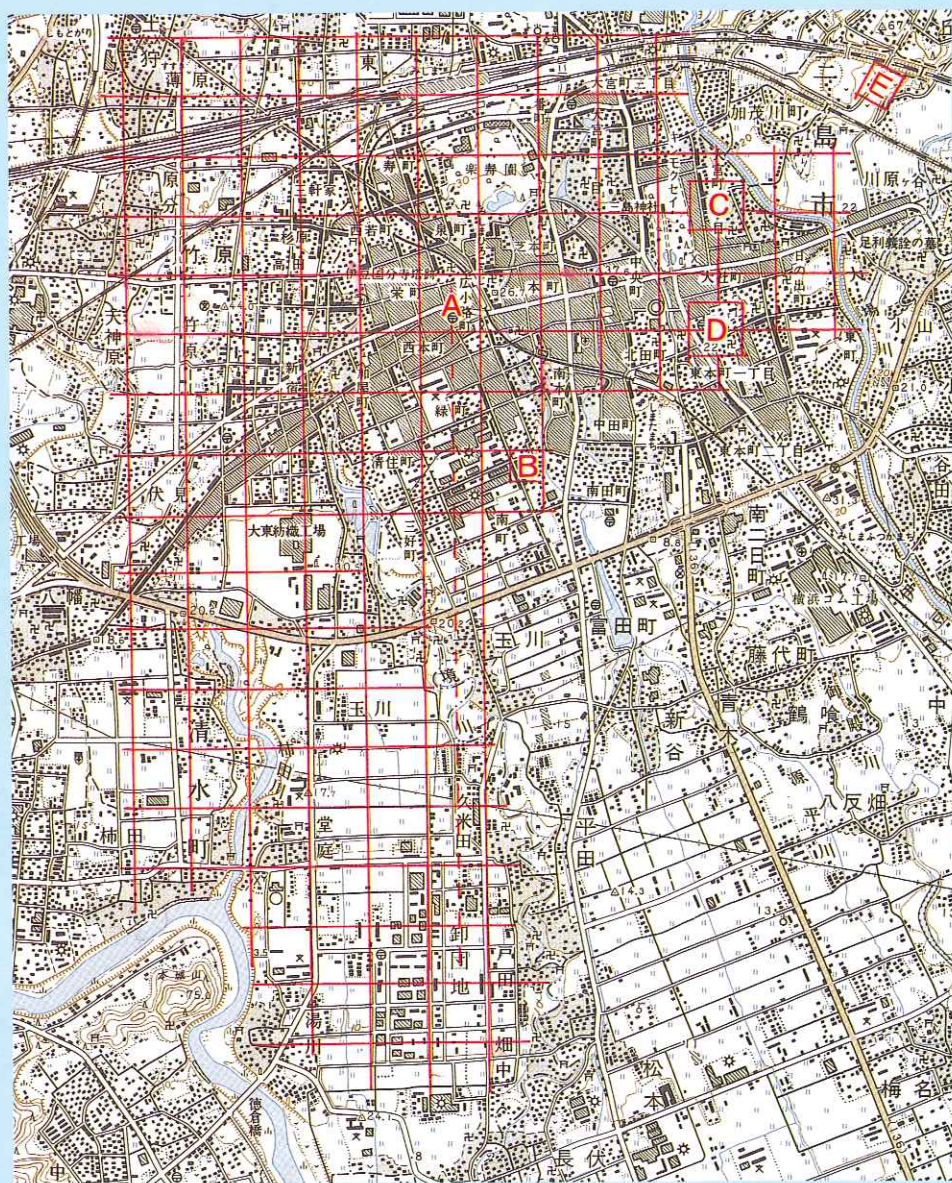


古代日本文化を探る

古代瓦展

～駿府博物館所蔵「徳富コレクション」を中心に～



三島市附近 古代仏寺及び条里制遺跡図

A. 伊豆国分寺 B. 伊豆国分尼寺 C. 山興寺 D. 大興寺 E. 天神原廃寺

●三島及び周辺の古代寺院と伊豆国分寺・同尼寺

推古天皇元年(593)、聖徳太子によって摂津に四天王寺が建立、同15年(607)、聖徳太子の発願で法隆寺創建。推古天皇の末頃には、全国に46カ寺もの寺院が創建されたとされる。わが国における仏教寺院あけぼの時代のことである。このような中央の情勢の影響を受け、地方にも、その地方の豪族の私寺として建立された寺院の出現をみるにいたる。

白鳳期、伊豆の周辺にも、いくつかの寺院建立がみられた。三島市内で白鳳期の建立とみなされてきた寺院には、市ヶ原廃寺(大興寺・現、大社町祐泉寺)と塔之森廃寺(山興寺・現、三嶋大社境内)、天神原廃寺(古代寺院名不詳)の三カ寺があり、大仁町宗光寺には宗光寺廃寺、沼津市の東辺には日吉廃寺があった。これらの寺院は、当初、私寺として造営されたもので、中央文献には表れず、多くは発掘時にもとづく考古学資料によって明らかにされてきた。

奈良時代、東大寺をはじめ全国の国分寺は、聖武天皇天平13年(741)の詔によって建設が進められた。

伊豆の国分寺(現、泉町「国分寺」付近)の建立年代については記録がないので明確ではないが、おそらく先の詔を受けて後、20年以内には造営されたものであろうとされている。

また、国分尼寺(創建当時は、現、南町付近)については、「建立後の承和3年(836)に焼失し、定額寺をこれにあてた」と『三代実録』に記事が見える。この時、本来の国分尼寺が焼失にともない、その代用としてあてられた寺が白鳳時代に建立された市ヶ原廃寺遺跡にあった古代寺院だと考えられている。

(図・文とも『三島市誌・上巻』を参考)

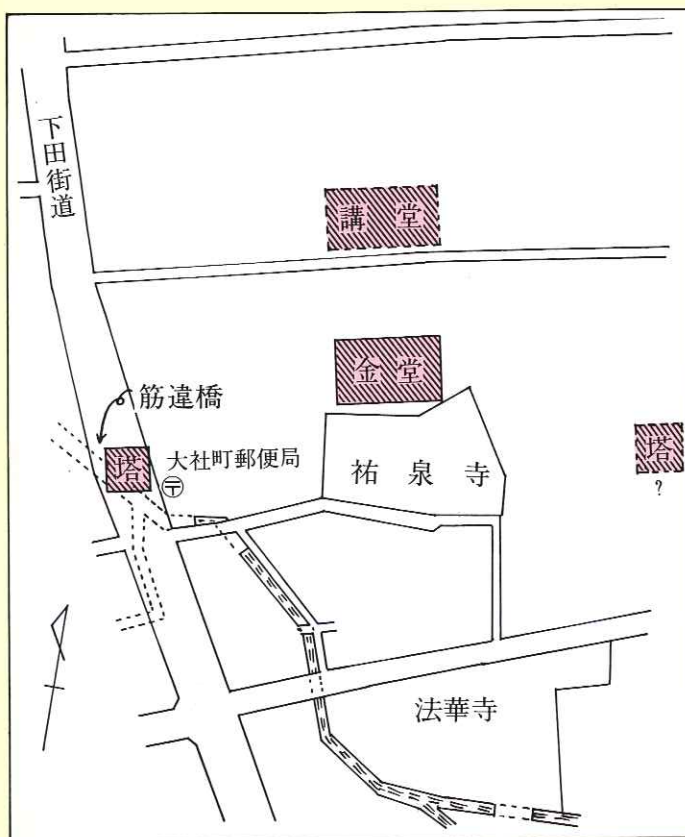
●三島の白鳳期寺院(大興寺、山興寺)の寺院変遷

(市ヶ原廃寺)

大興寺 — 定額寺 — 代用国分尼寺 — 真言宗国分法華寺(大光院) < 曹洞宗法華寺
臨濟宗祐泉寺

(塔ノ森廃寺)

山興寺 — 代用国分寺 — 三神寺 — 塔ノ森三級浮屠 — 大社城内三級浮屠 — 薬師堂



市ヶ原廃寺伽藍配置図

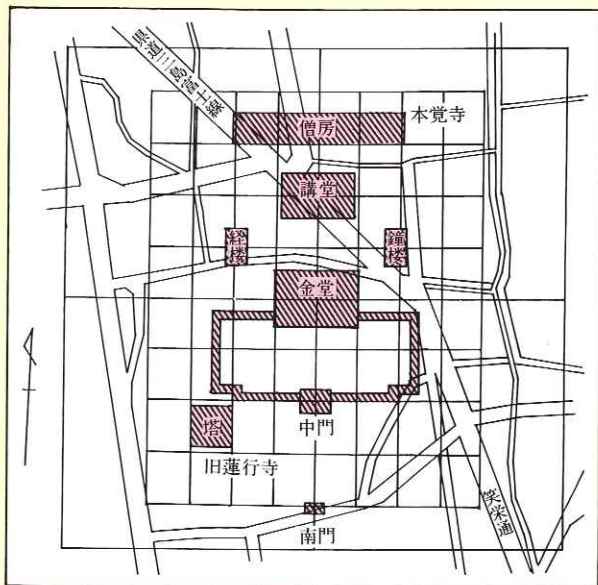


軒丸瓦・軒平瓦(市ヶ原廃寺)



軒丸瓦・軒平瓦(塔ノ森廃寺)

● 伊豆国分寺



伊豆国分寺 伽藍配置図



軒丸瓦・軒平瓦（伊豆国分寺）

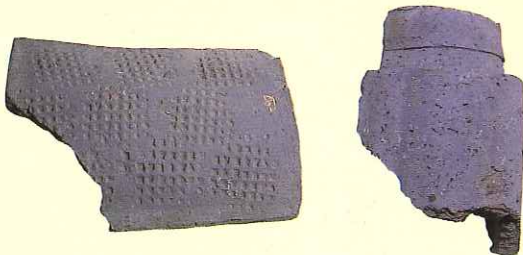


平瓦（伊豆国分寺）

● 宗光寺廃寺瓦、日吉廃寺瓦



平瓦片（宗光寺廃寺）



平瓦・丸瓦（日吉廃寺）



軒丸瓦（宗光寺廃寺）



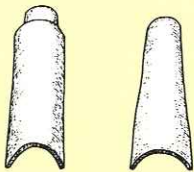
軒丸瓦・軒平瓦（日吉廃寺）

瓦

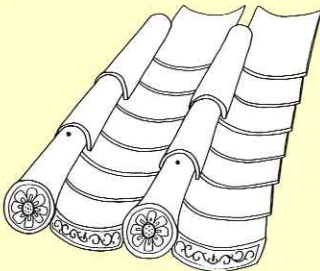
種類と名称

瓦には、それが葺かれた屋根の場所や形によって多くの種類があり、それぞれに名称がつけられている。主な種類と名称には、平瓦、丸瓦、熨斗瓦、衾瓦、面戸瓦、鐙瓦、宇瓦、鬼瓦、鴟尾、垂先瓦、隅木瓦などがある。このうち量が多いのが屋根の勾配に合わせて平面的に葺かれる平瓦（女瓦）と丸瓦（男瓦）で、後世、発見される瓦も大部分がこの種類である。また、平瓦と丸瓦は、それぞれ軒先の部分になんらかの文様つけることが普通で、その文様が瓦の歴史や地域を判定する上で重要な意味を持つ。丸瓦の軒の部分の瓦を鐙瓦と称し、平瓦のそれを宇瓦と称する。

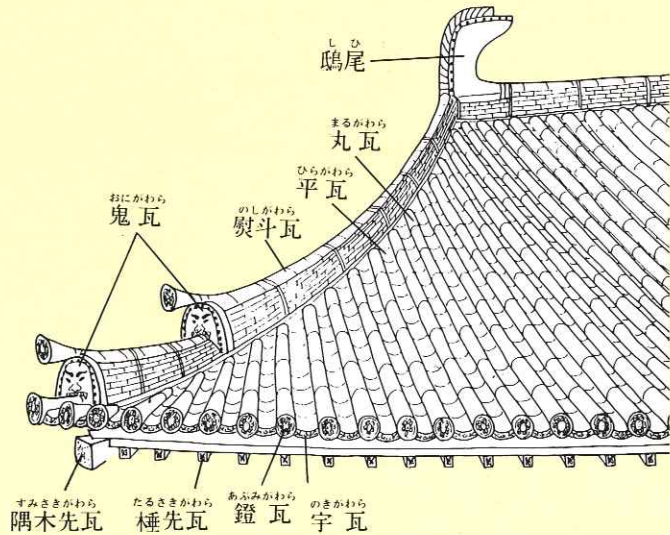
瓦の名称 (本瓦葺)



丸瓦 (本瓦葺) 丸瓦 (行基葺)



(行基葺)



(八王子市郷土資料館『井上コレクションの古瓦』を参考)

中国の瓦



円瓦当 (前漢時代)



瑠璃瓦 (明時代)



丸瓦 (明～清時代)

朝鮮半島の瓦



軒丸瓦（新羅）



軒丸瓦（百濟）



軒丸瓦（高句麗）

白鳳時代の日本の瓦



軒丸瓦（奈良 本薬師寺）



軒丸瓦（清水 尾羽麿寺）

日本各地の国分寺瓦



軒丸瓦・軒平瓦（常陸国分寺）



軒丸瓦・軒平瓦（下総国分寺）



軒丸瓦・軒平瓦（備中国分寺）



軒丸瓦 (備前国分寺)



軒平瓦 (美作国分寺)



軒丸瓦 (美濃国分寺)



軒丸瓦 (肥前国分寺)



軒丸瓦 (駿河国分寺)



軒丸瓦 (下野国分寺)



軒平瓦 (武蔵国分寺)



東大寺大仏殿瓦 (江戸時代)

文字瓦



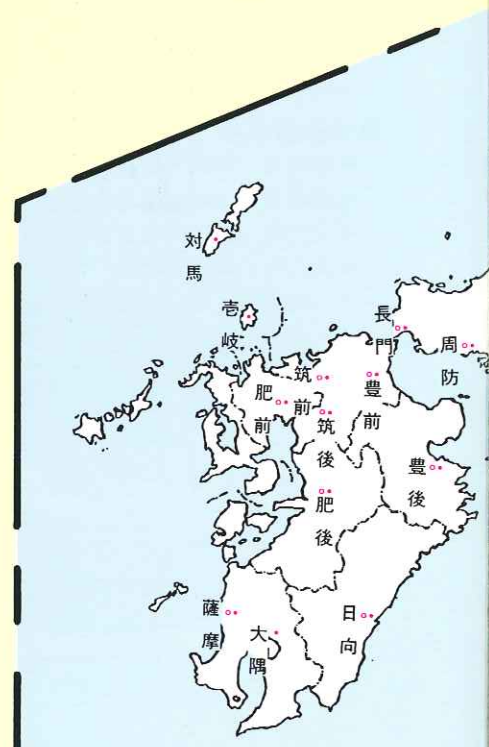
文字瓦「入」 (武蔵国分寺)



文字瓦「囧」 (武蔵国分寺)



文字瓦「中」



展 示 品 目 録

No.	名 称	時 代	出 土 地 他	No.	名 称	時 代	出 土 地 他
1	伊豆国分寺瓦	奈良	三島市泉町	31	常陸国分寺 瓦	奈良	茨城県石岡市石岡
2	市ヶ原廃寺瓦	白鳳	三島市大社町 祐泉寺	32	武蔵国分寺 瓦	奈良	東京都国分寺市西元町
3	宗光寺廃寺瓦	奈良	田方郡大仁町宗光寺	33	下総国分寺 瓦	奈良	千葉県市川国分町
4	日吉廃寺瓦	奈良	沼津市日吉	34	駿河国分寺 瓦	奈良	静岡県静岡市大谷(片山廃寺)
5	塔ノ森廃寺		三島市大宮町 三嶋大社	35	美濃国分寺 瓦	白鳳	岐阜県大垣市青野町
6	中国瑠璃瓦	明 16C	明孝陵	36	備前国分寺 瓦	奈良	岡山県赤磐郡山陽町馬屋
7	中国瑠璃瓦	明～清		37	備中国分寺 瓦	奈良	岡山県総社市上林国分寺
8	中国古瓦	前漢	「長楽未央」	38	美作国分寺 瓦	奈良	岡山県津山市川辺国分寺
9	中国古瓦	前漢	平壤土城	39	備後国分寺 瓦	奈良	広島県深安郡神辺町下御領
10	朝鮮古瓦	三国5～6C	新羅	40	肥前国分寺 瓦	奈良	佐賀県佐賀郡大和町
11	朝鮮古瓦	新羅7～8C	新羅	41	国分寺 瓦	奈良	
12	朝鮮古瓦	6C	百濟、扶餘、半月城	42	極楽寺 古瓦	平安後期	茨城県筑波郡
13	朝鮮古瓦	6C	高句麗、平壤土城	43	六勝寺 古瓦	平安後期	京都市東山
14	朝鮮古瓦	10C末	高麗	44	平安 鬼瓦	平安	
15	朝鮮古瓦	李朝	京城、景福寺 他	45	平安文字瓦	平安	「都府楼」
16	川原寺 古瓦	白鳳	奈良県高市郡明日香村	46	平安 古瓦	平安後期	不詳
17	山田寺 古瓦	白鳳	奈良県桜井市	47	鶴岡八幡宮 巴瓦	鎌倉初期	神奈川県鎌倉市
18	本薬師寺 古瓦	白鳳	奈良県	48	中世 巴瓦	鎌倉～室町	
19	尾羽廃寺古瓦	白鳳	静岡県清水市	49	元興寺 文字瓦	中世～近世	
20	白鳳 古瓦	白鳳	岡山県吉備地方	50	銀閣寺 文字瓦	中世～近世	京都市東山
21	法隆寺復古瓦(複製)	白鳳	(奈良県生駒郡)	51	唐招提寺 文字瓦	中世～近世	奈良市五条町
22	平城宮 古瓦	奈良	奈良市	52	中世 鬼瓦	室町	不詳「永享2年」(1429)
23	大安寺 古瓦	奈良	奈良市大安寺町	53	中世 古瓦	室町	不詳
24	古瓦	奈良	岡山県吉備地方	54	武田信玄ノ金庫屋根瓦	戦国	山梨県
25	三田廃寺古瓦	奈良	三重県伊賀地方	55	安土城 古瓦	戦国	滋賀県蒲生郡
26	古瓦	奈良		56	伏見城 古瓦	桃山	京都市伏見区
27	日本丸瓦(玉縁式丸瓦)	奈良		57	東大寺大仏殿 古瓦	江戸	奈良市
28	日本丸瓦(行基式丸瓦)	奈良		58	武蔵国分寺 文字瓦	奈良	東京都国分寺市西元町
29	陸奥国分寺 瓦	奈良	宮城県仙台市木の下	59	瓦経		
30	下野国分寺 瓦	奈良	栃木県都賀郡国分町国分	60	文字瓦		
				61	博		

展示品提供者

- 静岡市 駿府博物館「徳富コレクション古代瓦」
- 沼津市 加藤学園考古学研究所「日吉廃寺瓦」
- 大仁町 大仁町教育委員会社会教育課「宗光寺廃寺瓦」
- 大仁町 矢田哲哉氏「宗光寺廃寺瓦」
- 三島市 三嶋大社「塔ノ森廃寺瓦」
- 三島市 祐泉寺「市ヶ原廃寺瓦」
- 三島市 国分寺「伊豆国分寺瓦」

古代瓦展関連講座

- 演題「伊豆国の古代の瓦－伊豆国分寺を中心に－」
講師 平野吾郎氏(静岡県埋蔵文化財研究所)
- 日時 平成4年11月23日(月) PM1:30～3:30
- 会場 三島市郷土館

しずおか文化の祭典'92参加
郷土館・企画展

古代日本文化を探る

古代瓦展

平成4年11月1日～5年1月17日

三島市一番町19-3 楽寿園内
☎(0559)-71-8228 FAX81-3730
三島市郷土館